

Introduction

発想トリガー。

気に入って使っていくと、時々困ります。

「あれ、この発想トリガーって、
この手の問題の時、全然でないじゃん」

「この手のテーマの時って、
しっくりくるもの、ないんだよなあ」

そうなんです。領域を超えて使うと
うまく引き出せないものなんですね。

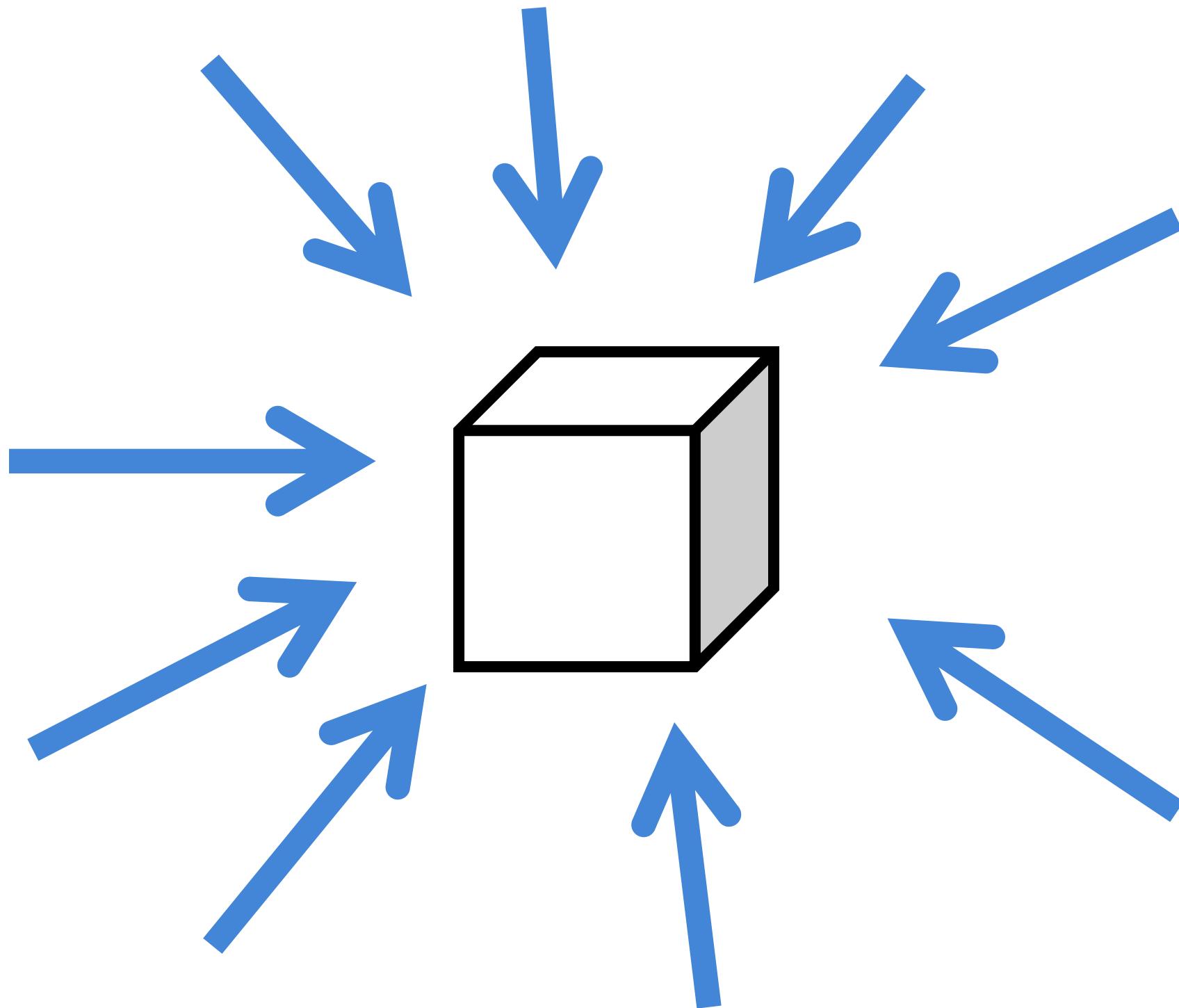
「あー、なにから発想の切り口にしていいか
もー！わかんない！」

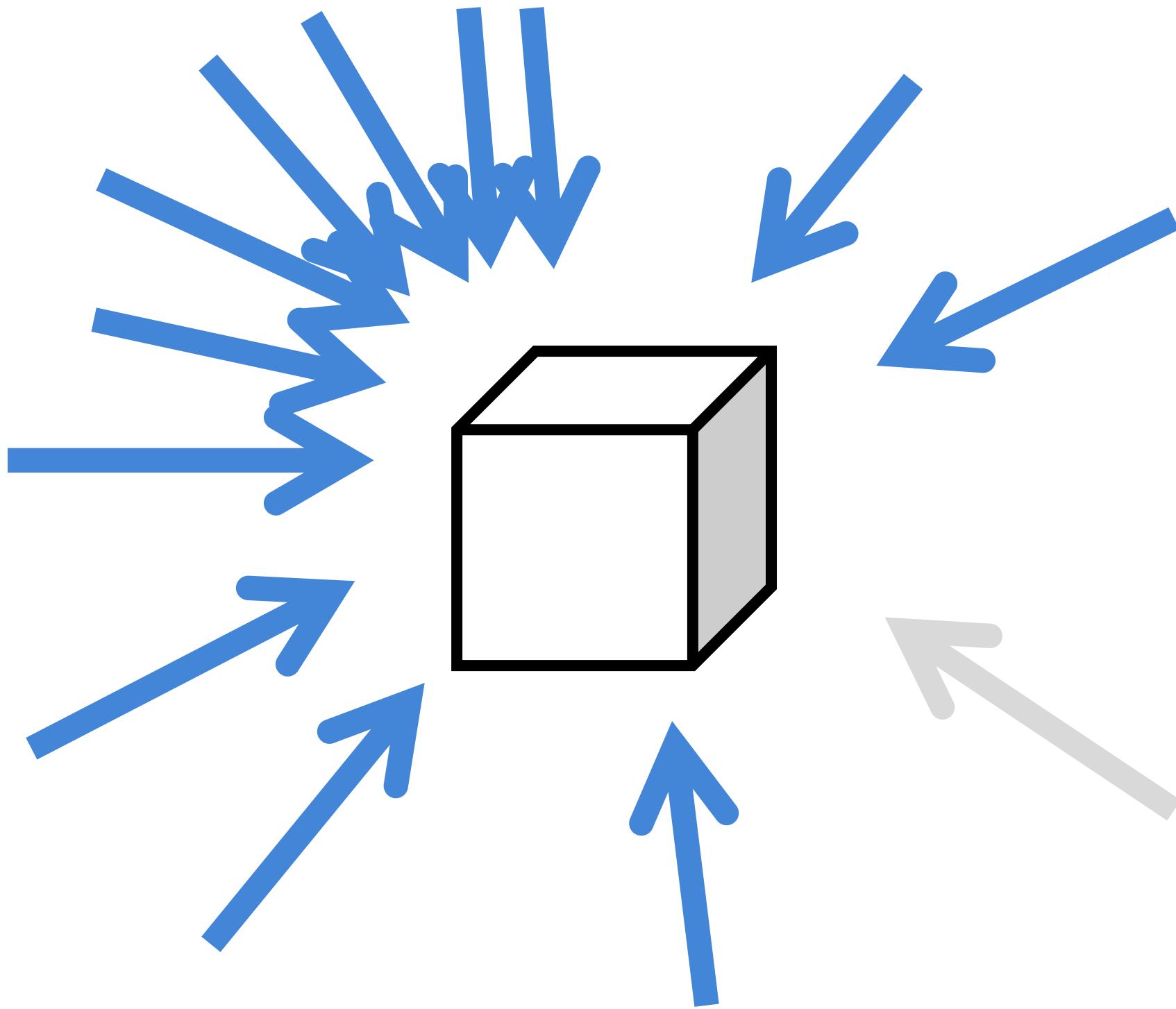
そんな時にすら使える「発想の観点をぐるりと回す」
発想トリガー、あります。 石井が分析して作りました。

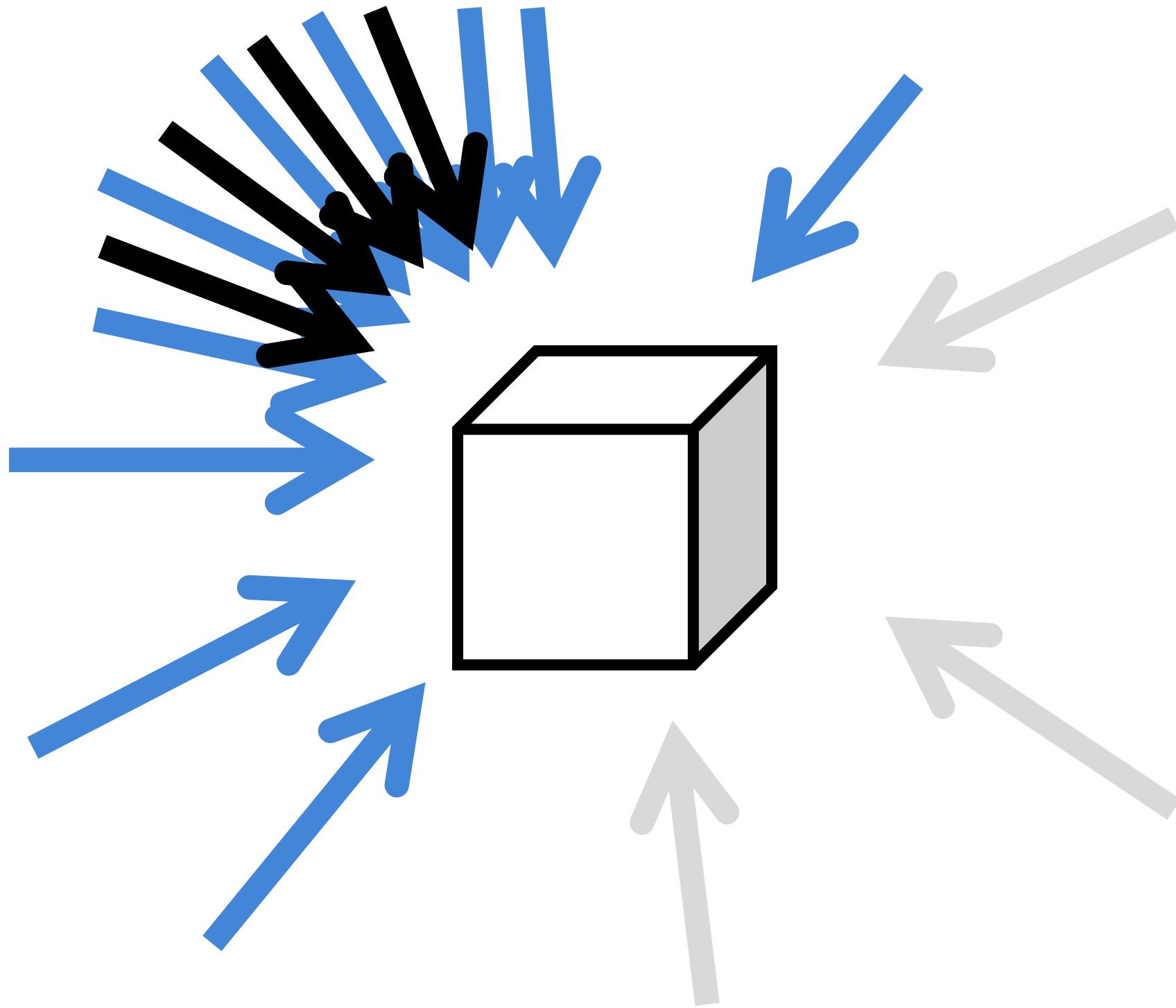
6

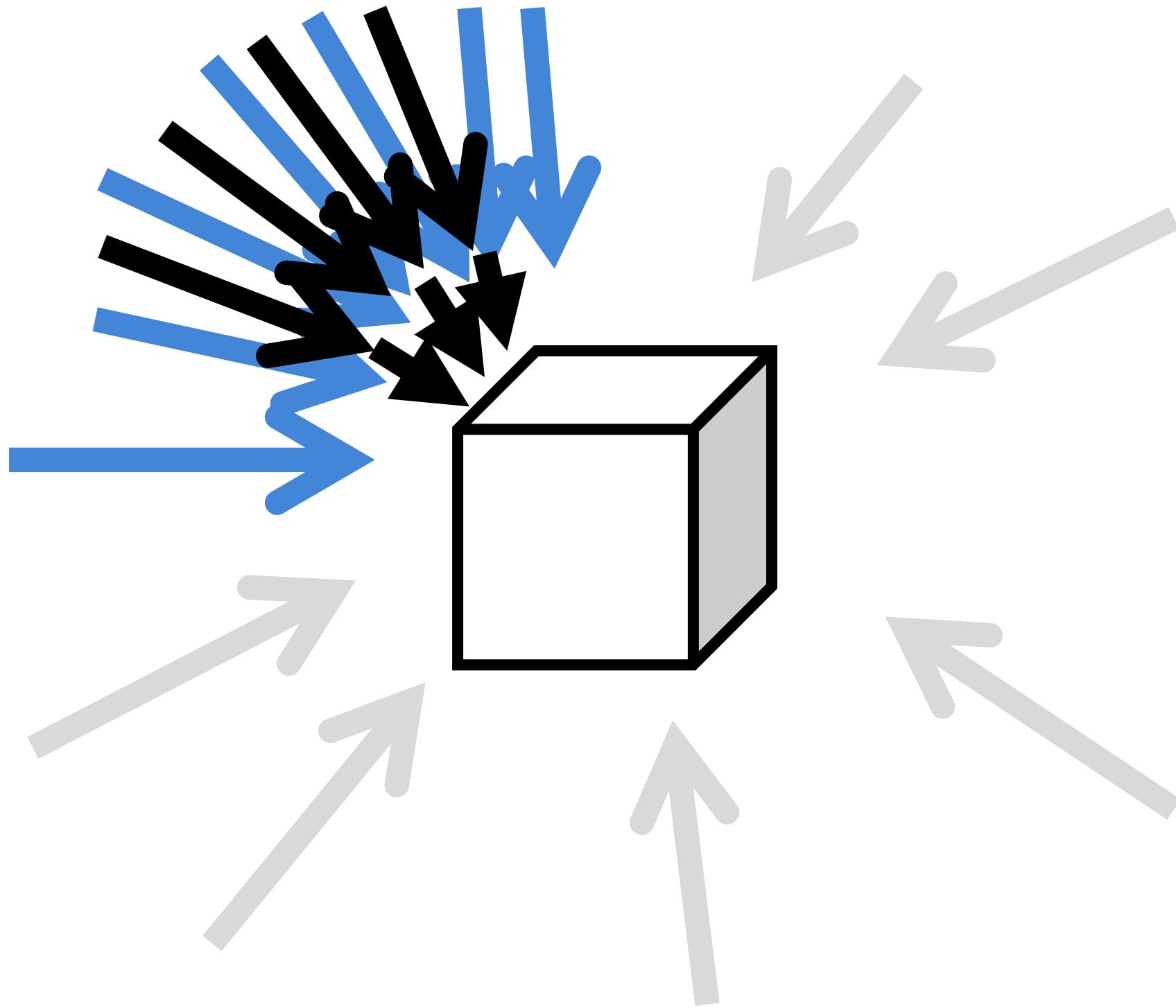
6観点リスト

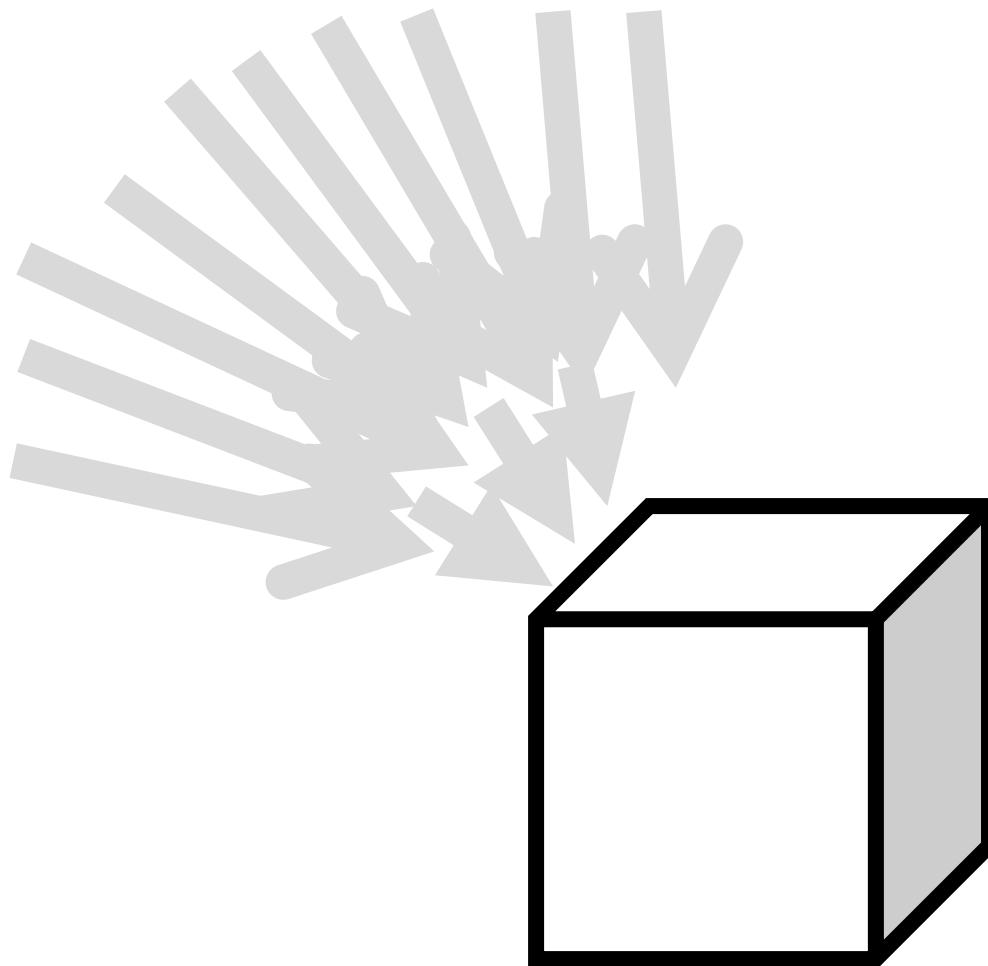
- ・何も切り口のない時に
- ・観点を大きく変えたい時に

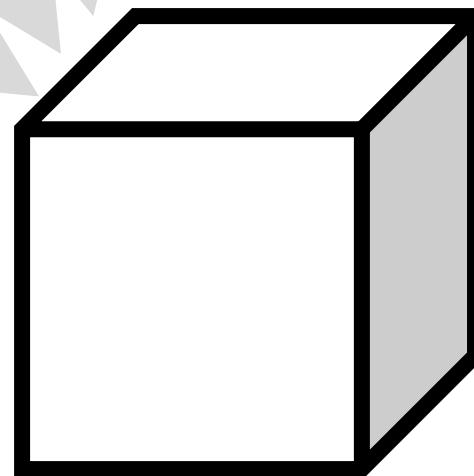
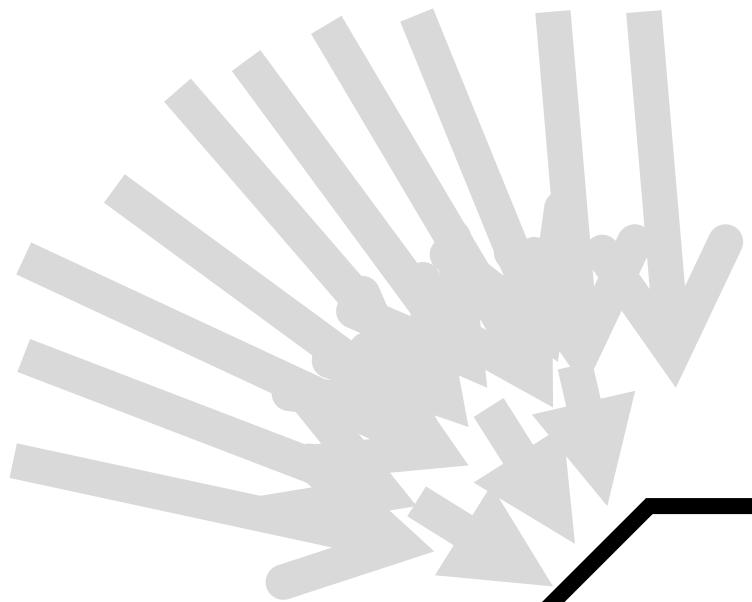








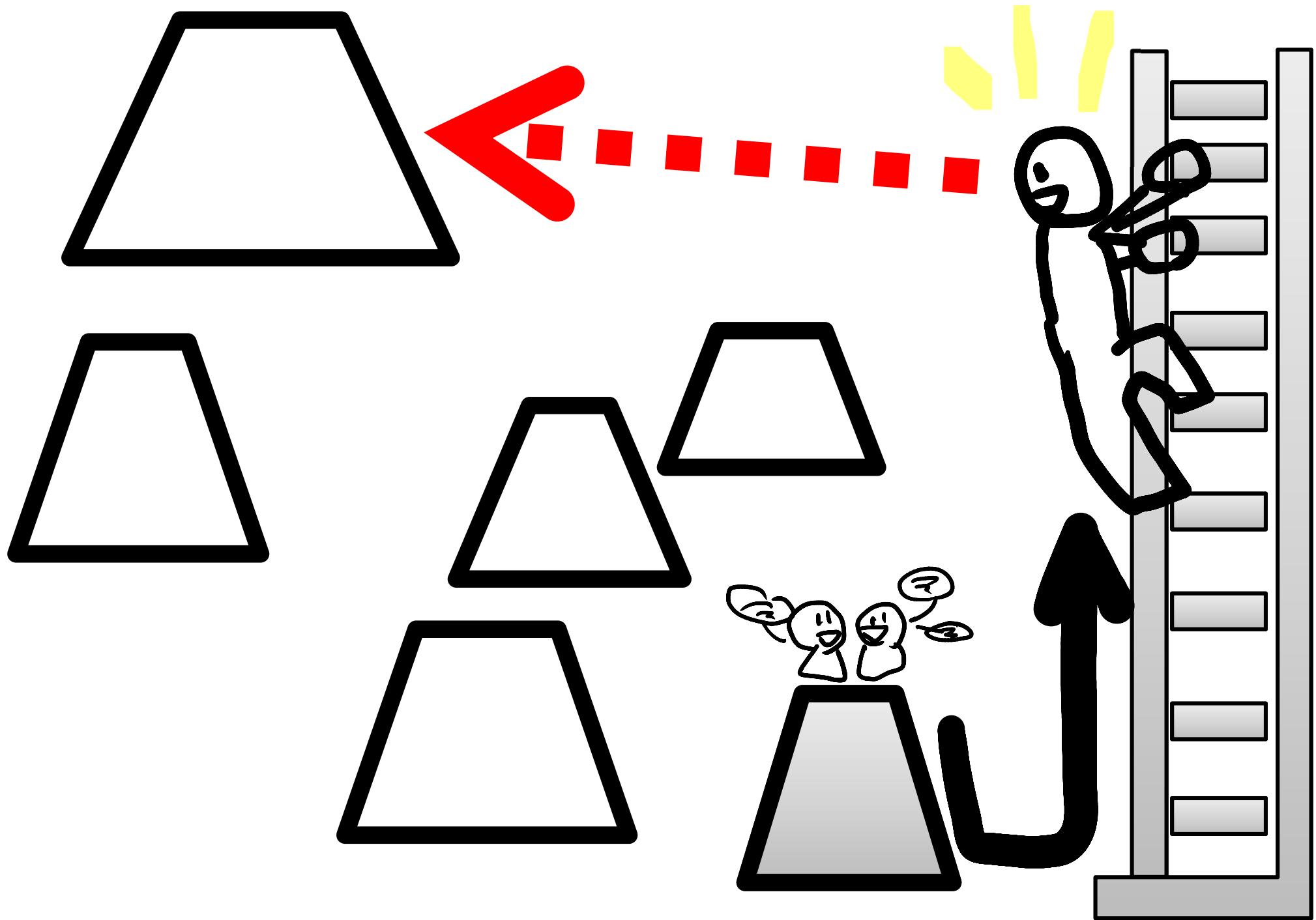


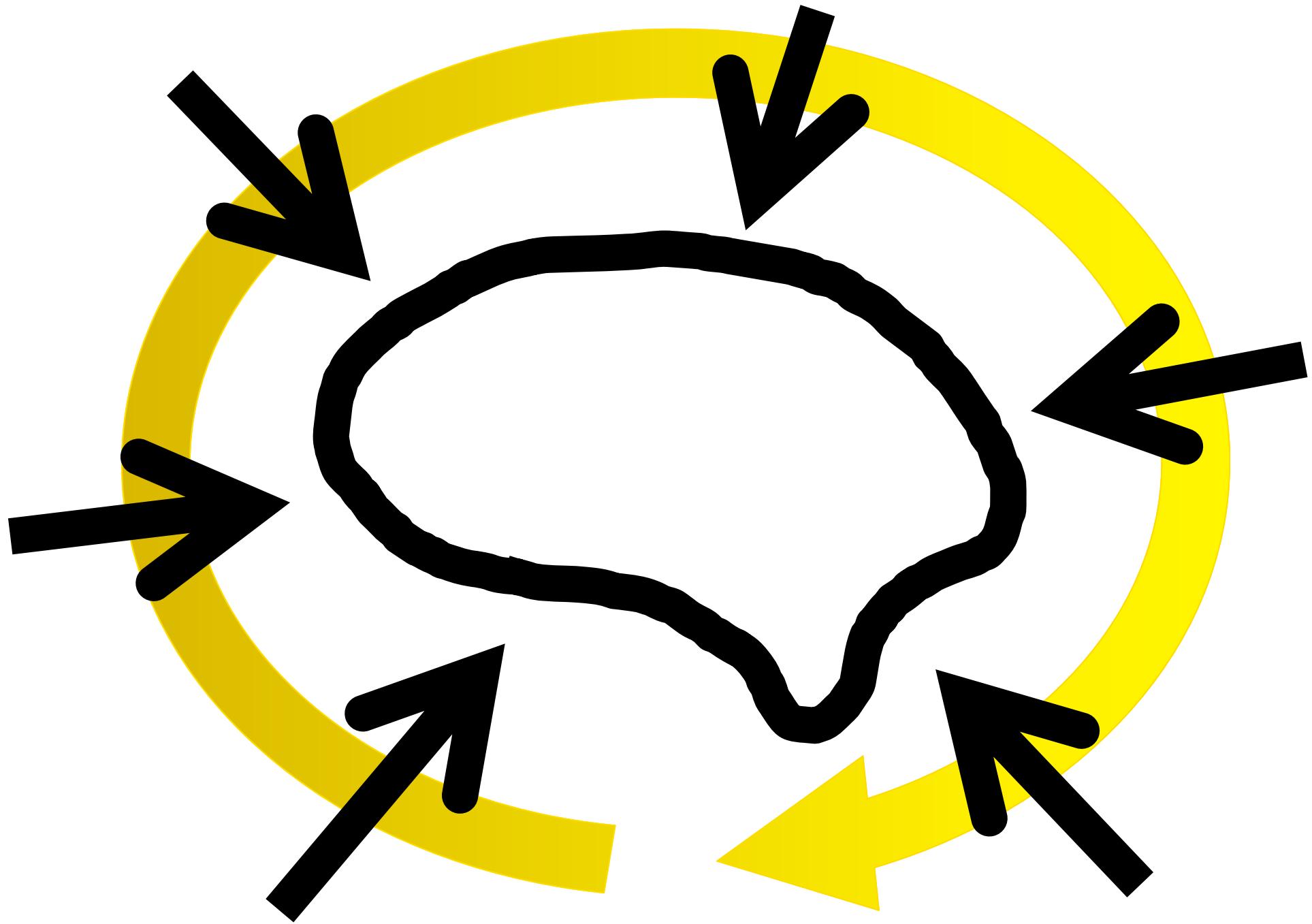


?

?

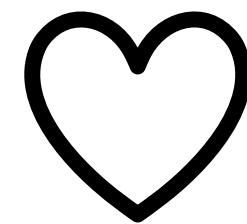
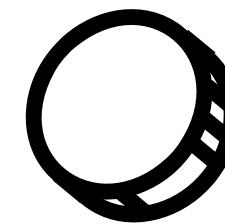
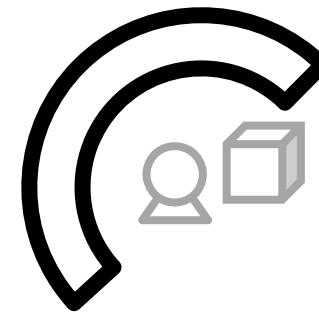
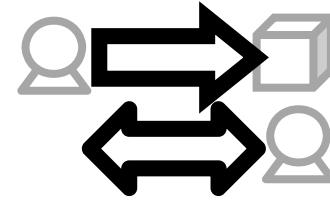
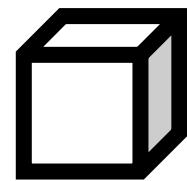
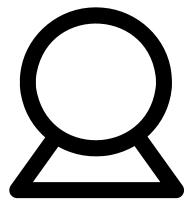
?

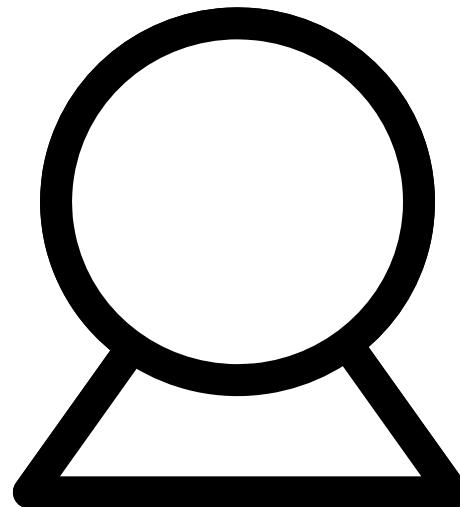




觀點360° ?

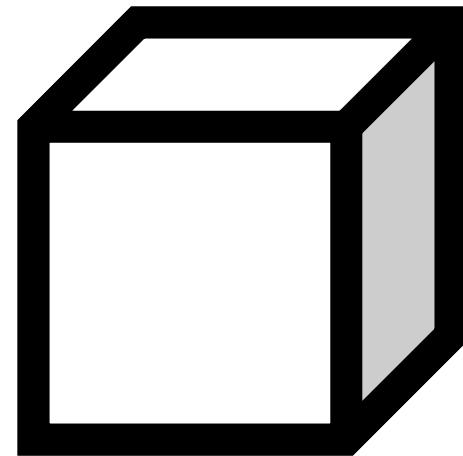
6観点リスト





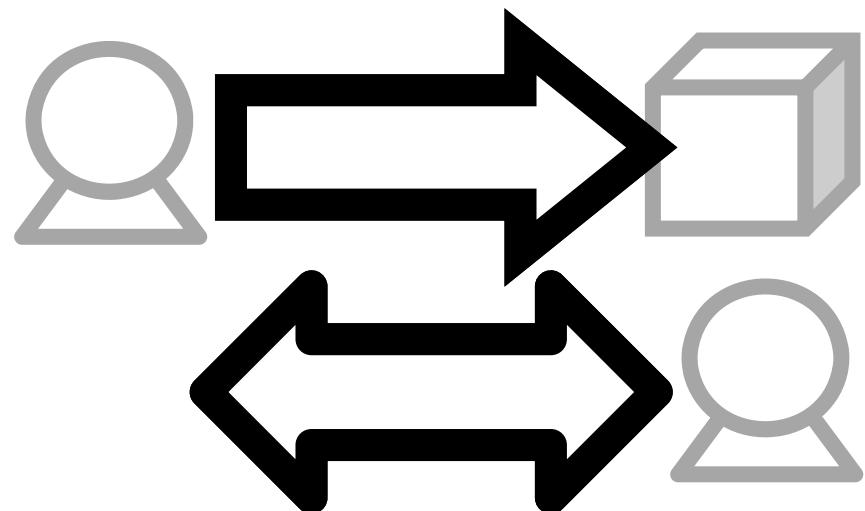
人

主体、客体、单数、複数、
立場、能力、市場、仕入先



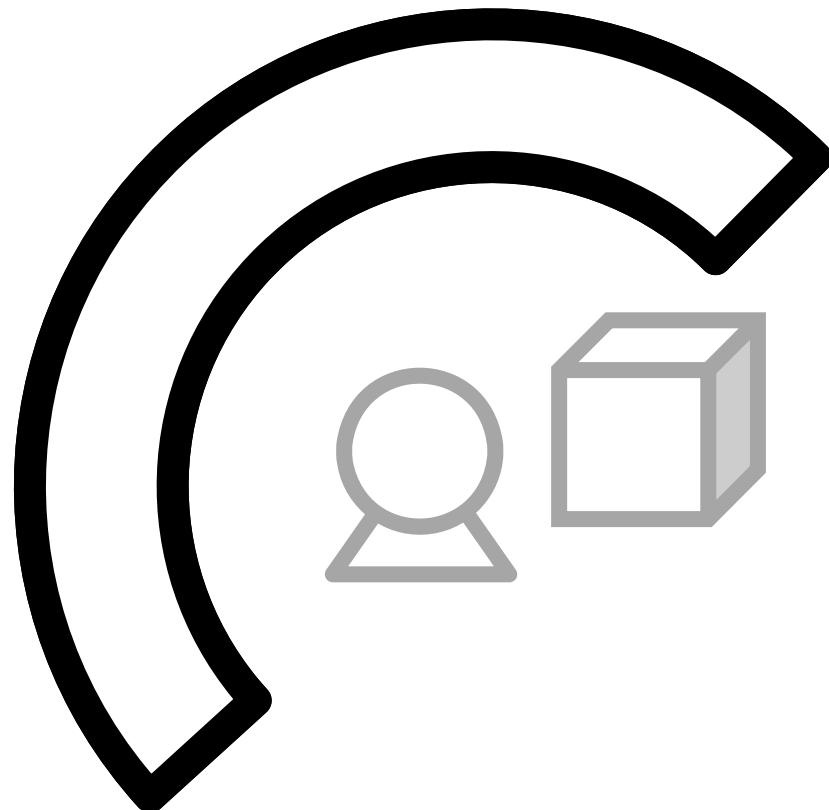
モノ

製品、素材、
人以外の生き物



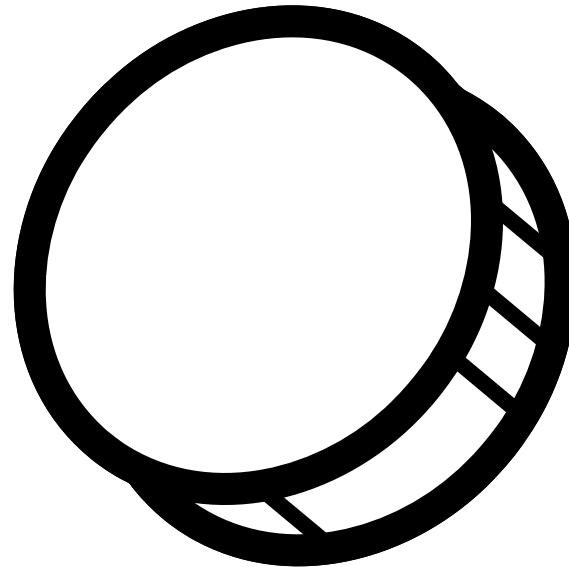
プロセス
・関係性

人とモノの動き、
役割、相互作用



環境

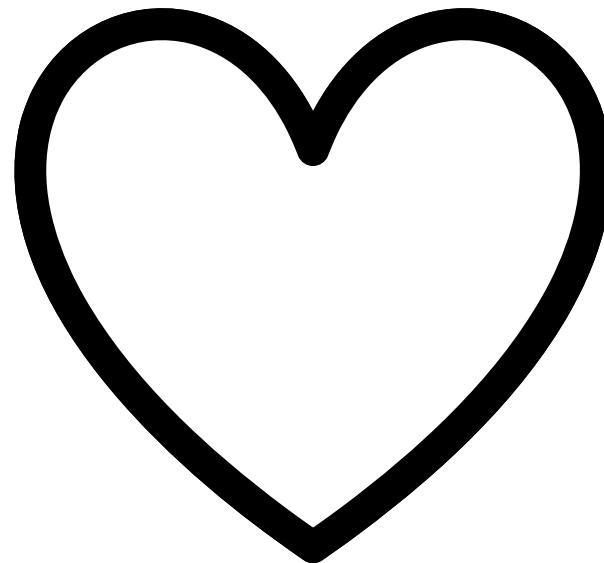
取り巻く環境、状況、風土、時間
人間よりずっと大きいもの、構造



意味

・価値

意味、価値、お金、手にとれないもの、
感情、強み、機会、情報、ビジョン、ゴール



五感

色・形、音、におい、味、
質感、触感、食感

観点毎に、基本的な条件がなにかないか、考える



(6観点リスト)